

日本鐵鋼協會記事

理事會 昭和4年5月10日(水曜日)午後4時30分開會 **出席者** 服部 漸君 俵 國一君
種子田右八郎君 今泉嘉一郎君 渡邊 三郎君 鹽田 泰介君 川上 義弘君

協議事項 1) 東京稅務監督局より本會々誌毎月2部宛寄贈あり度旨申越に關する件(1部宛寄贈承認) 2) 其他會務に關する件 3) 會員移動に關する件 以上の通りにして午後8時閉會す

編輯委員會 昭和4年5月10日(水曜日)午後5時開會 **出席者** 川上 義弘君 三島 徳七君
鹽澤 正一君 **協議事項** 鐵と鋼第15年第5號掲載原稿選定の件 其他會誌編輯上並に會務に關する諸件等にして午後8時閉會す。

入會者承認

居所又は宛名先	勤務先並職業	會員別	入會者氏名	紹介者
府下吾嬭町葛西川八〇一吾嬭精鋼所	吾嬭精鋼所主	正	清岡 榮之助君	行方 敏三郎 高 椋 正雄
市内麴町區丸ノ内二丁目十二番地		正	日本産業株式會社 研究課	川上 義弘 村松 橋太郎
大阪市港區福町一丁目戸畑鑄物會社木津川工場	冶金係 明專工學士	正	田 代 豊君	堀岡 利一 三宅 隆一
佐賀縣唐津製鋼所		准	大場 鶴雄君	大森 偉一郎
東京帝國大學工學部冶金教室内	學 生	〃	中 村 勉君	田中 清治
市外大島町四丁目大島製鋼所		〃	磯 部 靜男君	伊澤 藤吉
横濱市鶴見區豐岡町七〇五	日本鋼管會社技師	〃	川崎 政壽君	小山 泰之丞
大阪市港區南恩加島町久保田鐵工所	熔 解 係	〃	赤 禿 榮一君	村上 謙三
牛込區中町十二	東京帝大工學部學生	〃	近 藤 八三君	俵 國一
本郷區駒込千駄木町一二〇 萩谷方		〃	伊 賀 存和君	俵 國一
市外高田町一四〇二佐藤忠雄方	早稻田大學理工學部探鑛冶金學生	〃	八木原正三君	鹽澤 正一
計		正 3 准 8 計 11		

退會者

正會員 松坂善兵衛 早川喜夫 中川兼松 松田萬太郎 吉田太郎 小泉 澄 淡中晴海 **准會員**
熊丸 徹 以上七名

會員別變更 元准會員 吉川 信君 足立泰雄君 諸岡 鼎君 村上謙三君 以上諸氏は正會員に變更御申出に付き理事會に於て承認す。

氏名變更 舊 村上浩介君は 江原浩介と 舊 金子哲也君は 眞山哲也と改姓申出ありたり

死亡者

正會員 本會研究通信員理學博士 松下徳次郎君(四年三月三十一日) 正會員 内海幸太郎君(四年四月十五日) 正會員 守谷吾平君(不明) 准會員 吉竹一三君(四月二十五日午後二時十分) 以上四氏の御逝去せられたるは洵に痛惜の至りなり、茲に謹んで哀悼の意を表す 殊に本會の爲め多大の御盡力者たる松下博士の御他界は本會の最も悲痛に堪へざる處なり。

居所不明者 平野 二郎 平岡 宮治

會員消息

八幡製鐵所員

技師 田上 禎吉君 在外研究員として3月2日門司出帆

技手 安倉 三郎君 " 3月2日 "

技師 鵜瀨 新五君 銑鐵部原料課長田上禎吉海外派遣中原料課長事務取扱を命ず(3月14日付)

參事 波江野 繁君 米國へ出張中の處3月29日横濱歸朝

副參事 安永 渡平君 勞務部福利課長心得を命ず(4月1日付)

技師 西澤 公雄君 製鐵所大冶出張所長を免ず(4月2日付)

理事 松居 吉應君 製鐵所大冶出張所長兼務を命ず(4月2日付)

技師 香春三樹次君 技手 淺村 峻三君 在外研究員として4月13日門司港出發

技師 辰野 鎔君(大條課長) 依頼免本官(4月17日付)

技師 景山 齊君(條鋼部長) 條鋼部大條課長事務取扱を命ず(4月17日付)

以上製鐵所總務部より報告ありたり

正 誤

鐵と鋼第 15 年第 4 號本會第十四回通常總會記事「昭和三年度會務報告」10 講

演會 (334 頁)中演題及講演者氏名に缺洩あるを以て下記の通り追補訂正す

- | | |
|--------------------------------------|--------------|
| 21) 鋼材の燒辰殘留歪力に就て | 工學博士 佐々川 清君 |
| 22) 壓延工場に於ける加熱爐の熱能率と鋼片の大小
に因る損得比較 | 理學博士 海野 三郎君 |
| 23) 窒化作用を鋼の表面硬化に應用の研究 | 工學士 小 籾 重 行君 |

以下 No 繰上げる事